

「京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会」

第1次提言

平成23年1月

「京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会」

第1次提言

1 はじめに

スポーツは、私たちに夢や希望、感動や勇気を与えてくれるとともに、青少年の健全育成や府民の健康増進、さらには地域の絆づくりにも大きな力を発揮している。

しかしながら、京都府のスポーツ施設の状況をみると、昭和63年の京都国体をピークに整備が進められて以降、新たな拠点整備も行われておらず、老朽化が進行している。

また、この間、市民スポーツの現状は、新しい競技が生まれたり、地域のスポーツクラブの発達、さらには、地域密着型のプロスポーツの誕生など大きく変わる中、府民のスポーツに対するニーズも変化してきているが、それに対応するには京都府のスポーツ施設は、質量ともに厳しい状況に直面している。

京都府の競技力は、全国的に見ても上位を維持しているものの、このような状況が続けば、府民スポーツの衰退を招き、ひいては、競技力の低下や府民の健康問題、さらには京都府全体の活力の低下に繋がるのではないかと危惧をすることである。

このような状況の中で、京都府の未来を考えると、今こそ、スポーツ施設に対する整備のあり方を真剣に議論していく必要がある。

広範な府民がスポーツに親しむ機会を確保し、府民の競技力の底上げを図るため、京都府のスポーツ施設整備のあり方について、多角的な見地から検討を行うこととし、我々は、平成22年11月に設置以来、月1回以上のペースで、これまで4回の議論を重ねてきた。厳しい財政状況の中で、京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会(以下「本懇話会」という。)の意見が、京都府の平成23年度予算に何らかの形で反映されるよう、現時点での議論内容をまとめ、第1次提言を行うものである。

2 京都府のスポーツの現状

(1) スポーツ施設の現状

- ① 京都府内の公共スポーツ施設は、昭和63年に開催された「京都国体」をピークとして整備が進められ、山城総合運動公園など89施設が国体競技会場として新設・改修整備されたが、四半世紀を経過し施設の老朽

化が進行している。

- ② 「京都国体」開催以降、新たな公共スポーツ拠点の整備は行われておらず、府内の公共スポーツ施設の数 は 763 施設と全国で 31 位、人口規模類似府県と比較した場合では最下位と非常に少ない状況にある。
- ③ 主要なスポーツ施設数についてみても、体育館については府立体育館など 105 施設と、人口規模類似府県と比較した場合では最下位と非常に少ない状況にある。

また、屋外の主要なスポーツ施設数について、夜間照明のあるものについて比較すると、陸上競技場が西京極総合運動公園陸上競技場など 2 施設、野球場が西京極総合運動公園野球場など 7 施設、球技場についてはなく、同様に最下位と非常に少ない状況にある。

なお、グランドゴルフなどのニュースポーツにも近年多くの府民が親しんで来ていることなどの状況変化を踏まえ、新たな府民ニーズに応える市民スポーツ施設についても、整備が検討されるべき段階になっている。

- ④ 主要なスポーツ施設における全国規模の大会等の開催状況を見ると、陸上競技場では西京極総合運動公園陸上競技場で全国都道府県対抗女子駅伝競走大会などが、また、野球場では西京極総合運動公園野球場でプロ野球の試合などが、体育館では府市立体育館でバスケットボールbjリーグの試合などが、球技場では西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場でサッカーのJリーグの試合が開催されているが、近年国際的な試合は開催されていない。

なお、専用球技場としては宝が池公園運動施設球技場があるが、ピッチが人工芝であり、また、観客席が 6,000 席に止まっており、夜間照明設備も設置されておらず、多くの観客を集める大規模な球技大会は、開催されていない。

(2) スポーツを取り巻く状況の変化等

- ① スポーツを通じた健康づくりやグランドゴルフやゲートボールなど幅広いニュースポーツの誕生など府民のスポーツに関するニーズは高まっており、だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる生涯スポーツ環境の整備が課題となっている。
- ② 京都府の競技力は、国体開催後は順位を落とす府県が多い中で、「京都国体」開催以降も毎年上位の成績を収めており、平成 22 年度においても男女総合 7 位、女子総合 8 位となるなど、京都府競技力向上対策本部

を中心としてその維持が図られているが、更なる競技力の向上のためにも、スポーツ団体からは、スポーツ施設の充実、整備の要望が強い。

- ③ 新たなプロスポーツの誕生やサッカーワールドカップをはじめとする国際大会の開催などをきっかけに、高度な技術を身近で体感し、より臨場感あふれる迫力のある試合の観戦を通して、スポーツの楽しさを実感し、よりレベルの高い試合を見たいという府民ニーズが高まってきている。
- ④ スポーツの多様化、高度化が進んできており、「する人」、「観る人」、「支える人」それぞれの立場にあった環境の整備が求められている。「する人」が中心であったスポーツ施設整備についても、観客などの「観る人」、ボランティアなどの「支える人」、これらの人々の一体感が醸成できるようなスポーツ施設整備が求められている。
- ⑤ バスケットボールやサッカーなどの新しいプロスポーツは地域密着型に移行しており、スポーツ施設を拠点として地域活性化に貢献する動きが出てきている。

3 本懇話会での検討状況

(1) これまでの議論の概要

本懇話会では、京都府のスポーツの現状を踏まえ、熱心な議論を行う中で、

- ① 府立体育館など府立のスポーツ施設の老朽化が進んでおり、適切なリニューアルを行う必要がある。
 - ② 競技スポーツと市民スポーツの双方に係る施設整備を進めることが大切。
 - ③ 国際的な試合を開催することができる体育館などの整備が必要。
 - ④ 全国的な試合を開催することができる球技場の新設。
 - ⑤ スポーツ科学センターの整備。
- などの課題が出された。

また、競技団体に対するアンケート調査からは、

- ① 国際的な試合や全国的な試合を誘致できる体育館や陸上競技場の設置
- ② 球技場の設置
- ③ 多目的ドーム、スケート競技施設、グラウンドゴルフ専用施設、武道場、クライミングウォール、仮設射場の設置

- ④ テニスコートの整備
- ⑤ 陸上競技場、野球場の改修（夜間照明、スタンド屋根）
などの要望が寄せられた。

現時点においても、京都府全体として、多くのスポーツ施設の整備・改修の要望が出されており、今後意見聴取を進めていく中で、さらに、施設整備の要望は増えていくものと考えられる。

本懇話会として、具体の整備に繋げていくために、

- ① 大きな枠組みの中で、多くの府民の賛同を得て府民参画が図られるようなスポーツ施設全体の整備をどのようにしていくか提案する必要がある。
- ② 府民の要望に応えるべく、競技スポーツ、市民スポーツの双方に関わる施設整備を進める必要があるが、そのためにもできる限り計画的に、優先順位をつけて整備すべき。
などの議論がなされた。

(2) 施設整備のあり方について

本懇話会では、施設整備に向けて、現在、府内にあるスポーツ施設については、機能の拡充等も含めて効果的にリニューアルすべき、また、府内にない施設については、新設すべき、との考え方のもと、当面、論点を2点にまとめ、議論をすることとしたところである。

- ① 市民スポーツ施設の整備を図るため、府民ニーズを踏まえた府立のスポーツ施設の総合的リニューアル
- ② 現在の府立のスポーツ施設では対応できないスポーツ施設の重点的整備

現在までに、集中的に議論が進められた方向は次のとおりである。

① 府立のスポーツ施設の総合的リニューアル

京都府立の主要なスポーツ施設は、いずれも整備後20年～40年が経過し、経年劣化等による老朽化が進行しており、リニューアル改修の検討が必要。

リニューアルに当たっては国際的な試合や全国的な試合を開催できるよう施設の改善を行うべき。

府立体育館を、国際的な試合等に対応できるよう優先的にリニューアル整備することが必要。

さらに、山城総合運動公園・丹波自然運動公園などにおいては、府民ニーズに応えるテニスコート等のリニューアルやグランドゴルフ等新たなスポーツ種目に対応できる整備にも積極的に取り組むことが望まれる。

② スポーツ施設の重点的整備

現在、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボールなど京都において高い需要があるにもかかわらず、国際的な試合や全国的な試合の開催が可能な球技場が京都府内にはないことから、これに対応する競技場の新設を検討すべき。

(3) 議論を深化させるための提言

本懇話会としては、引き続きスポーツ施設全体の整備について議論を深めていくこととしているが、

① 府民のニーズ調査や、既存の施設、さらには、新しい施設の整備について、府民が具体的なイメージを持てるようにするため、専門的見地からの検討が必要との提案があったことから、本懇話会に専門部会を設置されたい。

② 専門部会での検討を円滑に進めるため、新たに専門的な調査の実施についても、検討されたい。

4 むすびに

本懇話会は、平成22年11月に設置以来、月1回以上のペースで、これまで4回の議論を重ね、第1次提言をまとめたところである。

この間、多忙の中、熱心に議論いただいた各委員に、心から感謝をする。京都府には、本懇話会の第1次提言が平成23年度予算に何らかの形で反映されることを切望する。

平成23年1月

京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会
座 長 梶 岡 義 明

<別表1>

都道府県別公共スポーツ施設数の状況

No.	都道府県	陸上競技場	野球場・ソ フトボール 場	体育館	球技場	その他	総数	施設数 順位
		箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	
1	北海道	79	629	539	140	3,424	4,811	1
2	青森	29	86	124	14	552	805	28
3	岩手	27	120	209	33	597	986	22
4	宮城	23	156	201	18	765	1,163	19
5	秋田	23	129	210	21	642	1,025	21
6	山形	22	65	126	26	488	727	34
7	福島	26	136	328	15	1,178	1,683	7
8	茨城	26	269	167	48	896	1,406	11
9	栃木	35	249	128	51	585	1,048	20
10	群馬	33	209	147	40	970	1,399	13
11	埼玉	36	402	240	112	1,059	1,849	5
12	千葉	29	290	191	53	1,108	1,671	8
13	東京都	45	548	243	113	1,133	2,082	3
14	神奈川県	20	170	254	33	1,084	1,561	10
15	新潟	26	190	304	30	1,110	1,660	9
16	富山	14	57	147	12	564	794	29
17	石川	17	104	185	16	579	901	25
18	福井	14	86	145	14	374	633	39
19	山梨	13	51	117	25	551	757	32
20	長野	25	217	361	39	1,909	2,551	2
21	岐阜	19	198	218	34	890	1,359	14
22	静岡	26	200	176	54	946	1,402	12
23	愛知	29	378	266	51	1,273	1,997	4
24	三重	16	100	114	20	494	744	33
25	滋賀	9	48	102	19	473	651	38
26	京都	13	73	105	24	548	763	31
27	大阪	13	129	223	31	937	1,333	15
28	兵庫	28	126	253	40	799	1,246	18
29	奈良	4	29	136	19	280	468	45
30	和歌山	9	82	78	16	374	559	42
31	鳥取	7	54	144	18	354	577	40
32	島根	16	56	128	11	445	656	37
33	岡山	16	104	111	19	691	941	24
34	広島	20	84	173	20	992	1,289	16
35	山口	7	33	141	6	603	790	30
36	徳島	5	32	89	7	293	426	46
37	香川	8	64	102	19	374	567	41
38	愛媛	12	48	131	19	457	667	36
39	高知	8	24	74	9	284	399	47
40	福岡	25	216	268	28	1,178	1,715	6
41	佐賀	9	36	76	11	399	531	43
42	長崎	19	59	119	6	645	848	27
43	熊本	17	94	263	14	589	977	23
44	大分	22	110	94	30	450	706	35
45	宮崎	26	92	238	25	476	857	26
46	鹿児島	44	79	204	15	906	1,248	17
47	沖縄	35	55	68	10	336	504	44

平成20年度：文部科学省統計データより

<別表 2 >

政令指定都市を抱える府県及び人口規模類似府県別公共スポーツ施設数の状況

都道府県	陸上競技場	野球場・ソフト ボール場	体育館	球技場	その他	総数
	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数	箇所数
北海道	79	629	539	140	3,424	4,811
長野	25	217	361	39	1,909	2,551
東京都	45	548	243	113	1,133	2,082
愛知	29	378	266	51	1,273	1,997
埼玉	36	402	240	112	1,059	1,849
福岡	25	216	268	28	1,178	1,715
福島	26	136	328	15	1,178	1,683
千葉	29	290	191	53	1,108	1,671
新潟	26	190	304	30	1,110	1,660
神奈川県	20	170	254	33	1,084	1,561
茨城	26	269	167	48	896	1,406
静岡県	26	200	176	54	946	1,402
群馬	33	209	147	40	970	1,399
岐阜	19	198	218	34	890	1,359
大阪	13	129	223	31	937	1,333
広島	20	84	173	20	992	1,289
兵庫	28	126	253	40	799	1,246
宮城	23	156	201	18	765	1,163
栃木	35	249	128	51	585	1,048
岡山	16	104	111	19	691	941
京都	13	73	105	24	548	763

平成20年度：文部科学省統計データより

<別表 3>

政令指定都市を抱える府県及び人口規模類似府県別公共スポーツ施設数の状況
(体育館以外は夜間照明設備のある公共スポーツ施設数)

<体育館>

都道府県	箇所数
北海道	539
長野県	361
福島県	328
新潟県	304
福岡県	268
愛知県	266
神奈川県	254
兵庫県	253
東京都	243
埼玉県	240
大阪府	223
岐阜県	218
宮城県	201
千葉県	191
静岡県	176
広島県	173
茨城県	167
群馬県	147
栃木県	128
岡山県	111
京都府	105

<陸上競技場>

都道府県	箇所数
新潟県	14
東京都	12
群馬県	12
静岡県	12
北海道	11
福島県	11
神奈川県	11
栃木県	10
広島県	10
岡山県	10
愛知県	9
兵庫県	9
長野県	9
福岡県	9
岐阜県	9
茨城県	6
千葉県	5
宮城県	4
埼玉県	3
大阪府	3
京都府	2

<野球場・ソフトボール場>

都道府県	箇所数
北海道	154
愛知県	123
東京都	98
福岡県	93
新潟県	92
長野県	91
岐阜県	89
栃木県	75
埼玉県	68
群馬県	60
静岡県	55
千葉県	50
茨城県	50
福島県	46
岡山県	46
広島県	46
兵庫県	45
神奈川県	38
大阪府	34
宮城県	31
京都府	7

<球技場>

都道府県	箇所数	参 考 〔 Jリーグ開催 スタジアム 〕
北海道	20	4
埼玉県	17	4
東京都	16	6
愛知県	14	3
静岡県	13	5
千葉県	11	4
福岡県	9	3
栃木県	9	2
兵庫県	8	3
群馬県	8	2
大阪府	7	4
神奈川県	6	5
新潟県	6	2
広島県	6	2
茨城県	5	5
岡山県	5	2
長野県	5	1
岐阜県	3	3
宮城県	2	2
福島県	2	2
京都府	1	1

平成20年度：文部科学省統計データより

<別表 4 >

府内の主要な公共スポーツ施設の状況と全国レベルの試合・大会等

施設	主な施設	主な全国レベルの試合・大会等
陸上競技場	<ul style="list-style-type: none"> 西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場（第1種公認） 	<ul style="list-style-type: none"> 全国都道府県対抗女子駅伝 全国高等学校男子・女子駅伝 サッカーJリーグ
野球場	<ul style="list-style-type: none"> 西京極総合運動公園野球場 	<ul style="list-style-type: none"> プロ野球公式戦 女子プロ野球
体育館	<ul style="list-style-type: none"> 京都府立体育館 京都市体育館 向日市民体育館 舞鶴文化公園体育館 	<ul style="list-style-type: none"> バスケットボールbjリーグ（府立体育館、京都市体育館、向日市民体育館） バスケットボール日本リーグ（府立体育館、京都市体育館） バレーボール日本リーグ（府立体育館、舞鶴文化公園体育館） 島津全日本室内テニス選手権大会（京都市体育館）
球技場	<ul style="list-style-type: none"> 宝が池公園運動施設球技場 	<ul style="list-style-type: none"> なし

「京都府におけるスポーツ施設のあり方懇話会」主な意見

<府立スポーツ施設のリニューアルについて>

- ・府立のスポーツ施設は大変老朽化している。
- ・府立体育館はシャワー室、トイレ等の数が少なく、老朽化が激しい。リニューアルが必要
- ・太陽が丘の体育館は床の強度不足で仮設席が設置できず、プロバスケットボールの試合が開催できない。府立体育館も含め観客席の整備を検討されたい。
- ・体育館の音響設備の充実が必要。
- ・国際試合等を開催できる体育館が京都にできることを本当に望んでいる。
- ・山城や丹波に広くて立派な施設があり、そこをもっと研究してリニューアルすれば、お金をかけないで整備できる。

<レベルの高い競技会が開催できるスポーツ施設の新設について>

- ・国際大会が開催できるスタジアムや体育館がない。海外ではスポーツ施設が地域を活性化し、地域振興の拠点ともなっている。
- ・西京極陸上競技場は陸上競技の全国大会とＪリーグを開催する関係から日程調整が困難。サッカー専用スタジアムの整備は非常に喜ばしい。
- ・府内には、サッカーＡＣＬ（アジアチャンピオンズリーグ）の試合ができる施設がない。オーロラビジョンもない。国際的どころか国内的にも京都は誇れない状況。優先順位を考えていただきたい。
- ・新たな施設はラグビー、アメリカンフットボールも利用可能となるよう考慮すべき。
- ・どのようなスポーツ施設が必要か各競技団体の意向調査をする必要がある。
- ・施設整備には税金が投入される。他の施策と比較してどれくらい優先度が高いかということを見極める必要がある。
- ・広い土地と財政的裏付けが必要であるが、そこへ行けば屋内スポーツもサッカーも子ども達が遊べる環境もあるという発想で検討いただきたい。
- ・サッカースタジアムはゲームをするだけでなく、子どもが憧れ、地域に貢献する複合型施設であるとともに、「観る」人の立場で整備する必要がある。
- ・施設整備には初期投資に加え、ランニングフィーが過大なものにならないよう検討する必要がある。京都の英知を結集して検討すべき。
- ・優先順位でいけば、サッカースタジアムの整備は当然だが、雨天時にもプレーできる多目的ドームのニーズが高まっていることにも留意する必要がある。
- ・競技施設だけではなく、国立スポーツ科学センター（ＪＩＳＳ）と同様のス

ポーツ科学拠点を整備することも必要。

- ・整備後のスタジアム運営面についても考慮すべき。(サッカーだけでは) 1年のうち1/3程度しか使わない。サッカーだけでなく、いろんな競技もできるような施設、全天候型など京都にしかないものを造るべき。
- ・スタジアムは天然芝とする以上、利用日数に限りがあるが、施設内の会議室などスポーツだけでなく、イベントの開催や地域のコミュニケーションをとる場として貸し出すなどすれば、多様性が出てくる。
- ・府民が諸手を挙げて応援していこう、他のスポーツ団体も優先的に応援するといった世論を盛り上げていく施策が必要。何年までに球技場、何年からは室内競技場というような長いスパンを示す必要があるのではないか。
- ・新しい施設は、例えば、環境やエコロジーといったようなコンセプトを全面に押し出し、それをどう具現化するのが大事。競技場は拡張性やユニバーサルデザイン、人が集まる複合型といったようなものを考えていただきたい。
- ・府は他のスポーツや府民が挙げて賛成できるような将来のスポーツ施設の整備の青写真を示すべき。また、青少年に配慮した施設利用とすべき。
- ・京都府がスポーツに対し、こういう形で行政として動こうとしていること自体がすばらしいことで、これをつぶさないようにしないといけない。京都は何かしようとするとき必ずネガティブな発言が強くなって結果的に何もしない。今回こそ一丸となってやるべきで、やる時期が来たのではないかと思う。
- ・サッカーは世界で一番人口の多いスポーツ。こういうものから手がけていくのはそれなりに理由があり、みなさんの気持ちを一つにしてやらないと。あれもこれもと言い出すと、また次の20年後の「残念でした」ということになってしまうと思う。
- ・今ある施設の改修というのは一定イメージを持つことができるが、新しい施設を造るためには、施設の専門家や有識者で専門部会を立ち上げ検討いただいた後、その内容を踏まえて懇話会で議論してはどうか。
- ・スタジアムの建設事例や運営費の課題等について調査し、その結果をもとに有識者による専門部会で検討すべき。また、府民から募金を募るためにも、府民みんなでアイデアを出して造った方が良い。
- ・全国レベルで客席2万人クラスのスタジアムで施設運営に係る良いところ、改善を要するところなど情報を収集すべき。
- ・場所の問題は大きい。一定の用途を立てて議論すべき。
- ・屋内競技種目から見ると、体育館施設のリニューアルも一緒に考えた予算組みを行っていただきたい。
- ・府の平成23年度当初予算編成に間に合うよう方向付けを示す必要がある。

府立スポーツ施設整備に関する各競技団体アンケート調査(中間まとめ)

回答数：33競技団体（調査対象：42競技団体）

<府立スポーツ施設のリニューアル>

【府立体育館】

- ・国際試合等に対応した施設への改修（床の構造強化、照明照度向上、ドーピング室設置、観覧席整備、トイレ・シャワー室・更衣室の改善、空調設備改善、会議室増設、LAN等高速回線整備、駐車場拡大 等）
- ・競技力向上等に対応した整備（クライミングウォール設置、仮設射場の設置、各種競技用設備の設置 等）
- ・利便性向上への改修（2階通路整備、会議室・更衣室の空調設備改善）

【山城総合運動公園】

- ・国際試合等に対応した施設への改修（体育館床の構造強化）
- ・国内大会招へい、利便性向上への改修（陸上競技場への夜間照明設置、スタンド屋根拡大、更衣室の設置、大型得点板の設置、野球場への夜間照明設置及び観客席増設 等）
- ・競技力向上等に対応した整備（テニスコート整備、遠的射場の設置、クライミングウォール設置、みどりが丘グラウンドの芝生化 等）

【丹波自然運動公園】

- ・競技力向上等に対応した整備（体育館の床張替、更衣室整備 等）
- ・利便性向上への改修（グラウンド排水整備、陸上競技場スタンドの屋根拡大、補助競技場整備、テニスコートへの夜間照明設置、ゲートボール場整備 等）

【伏見港公園】

- ・国際試合等に対応した施設への改修（体育館床の構造強化）
- ・競技力向上等に対応した整備（体育館シューティング改修 等）
- ・利便性向上への改修（プール更衣室改修）

<スポーツ施設の新設>

- ・球技専用スタジアムの建設
- ・国際試合を誘致できる体育館、陸上競技場の設置
- ・多目的ドームの建設
- ・スケート競技施設の建設
- ・グラウンドゴルフ専用施設の整備
- ・府立の武道場の設置